

平成 23 年 9 月定例会（12 月議会）
建設交通委員会提出資料

建設交通部

【所管事項】

- | | | |
|---------|---|---|
| ○ 建設管理課 | 秋田県発注工事における平成 22 年度受注実績
(支払額ベース) 上位 30 社 | 1 |
| ○ 道路課 | 雪沢大橋ケーブルの破断について | 2 |
| ○ 河川砂防課 | 「第 3 回成瀬ダム建設事業の関係地方公共団体
からなる検討の場」について | 8 |
| ○ 建築住宅課 | 中通一丁目地区市街地再開発事業について | 9 |

秋田県発注工事における平成22年度受注実績(支払額ベース)上位30社

平成23年12月 5日

建設管理課

順位	商 号	所在地	件数	支払金額 (単位:千円)	前年度 順位	備考
1	株式会社佐藤庫組	北秋田市	26	1,506,902	2	
2	秋田土建株式会社	北秋田市	22	1,425,784	1	
3	株式会社沢木組	男鹿市	22	1,103,154	3	
4	中田建設株式会社	秋田市	15	1,054,466	4	
5	株式会社東北機械製作所	秋田市	25	1,043,592	—	
6	山科建設株式会社	由利本荘市	31	1,039,950	8	
7	伊藤建設工業株式会社	横手市	18	893,690	6	
8	大森建設株式会社	能代市	16	815,811	21	
9	長田建設株式会社	由利本荘市	18	725,644	5	
10	株式会社宮原組	大仙市	29	675,223	9	
11	株式会社菅与組	潟上市	11	572,852	16	
12	東光鉄工株式会社	大館市	9	489,558	—	
13	株式会社吉田建設	横手市	14	489,208	—	
14	鹿島建設株式会社	東京都	1	482,372	—	県外
15	大館桂工業株式会社	大館市	27	468,566	—	
16	小坂建設株式会社	小坂町	11	444,750	—	
17	田中建設株式会社	三種町	16	444,541	11	
18	株式会社柴田組	羽後町	9	441,027	—	
19	秋田瀝青建設株式会社	潟上市	11	434,705	—	
20	株式会社協和土建	大仙市	10	425,404	22	
21	株式会社半田工務店	横手市	5	422,026	—	
22	株式会社イトウ	大館市	7	410,754	—	
23	秋田振興建設株式会社	大仙市	14	402,097	17	
24	奥山ボーリング株式会社	横手市	22	391,055	14	
25	八重樫建設株式会社	鹿角市	12	374,939	25	
26	日本電機興業株式会社	秋田市	7	366,312	—	
27	株式会社ピーエス三菱	東京都	3	359,922	—	県外
28	株式会社丸臣高久建設	湯沢市	2	359,382	—	
29	株式会社東翔	横手市	11	357,775	—	
30	成田建設株式会社	三種町	9	356,896	—	

○受注金額には、平成21年度以前に契約し、継続費設定等により平成22年度に支払われた金額が含まれる。

○前年度順位欄における「—」は前年度31位以下であることを示す。

雪沢大橋ケーブルの破断について

平成23年12月 5日
道 路 課

1 事故経緯と橋梁の概要

平成23年6月6日に主要地方道大館十和田湖線雪沢大橋（大館市雪沢地内）において、右側ケーブル1本（起点側8本のうち上から4段目）の破断が確認されたため、全面通行止めとし、破断したケーブルを撤去して破断原因の調査を進めてきた。

迂回路は、雪沢大橋の前後にある旧道（現在は市道）を使用し、これまでも一部改良を加えてきた。さらに、冬期の積雪に備え、大型車のすれ違いが可能となるよう小坂鉄道踏切部の拡幅及び鹿角市側交差点部の改良を11月末までに完成させている。

（雪沢大橋の概要）

- ・ 橋 長：177.1m
- ・ 上部工形式：3径間連続エクストラードボルドPC箱桁橋
- ・ 架 設 年：平成12年12月

2 斜材構造の概要

図－5（マンションとケーブルの結合部（模式図））のとおり

3 ケーブルの破断原因の調査結果

ケーブルの破断は、桁側定着部近傍の一部区間でPC鋼より線が著しく腐食したことにより生じたものである。なお、ケーブルを解体して詳細に調査した結果、腐食は外部から桁側定着部近傍に侵入した水分が防食層下のPC鋼より線に到達したためと考えられるものの、熱収縮チューブより内側への侵入経路を特定することはできなかった。ただし、以下の事実が確認された。

- ・ 熱収縮チューブにはケーブル架設完了前には既に生じたと考えられる損傷（裂傷、穴）があった。
- ・ ケーブル破断箇所のPC鋼より線には、塩分が付着していた。

4 今後の対応

残存ケーブルについてPC鋼より線の腐食や破断の有無等、健全性の調査を行い、橋梁全体の安全性を評価しながら、補修工事に着手する。

なお、費用負担については、施工業者と協議中である。

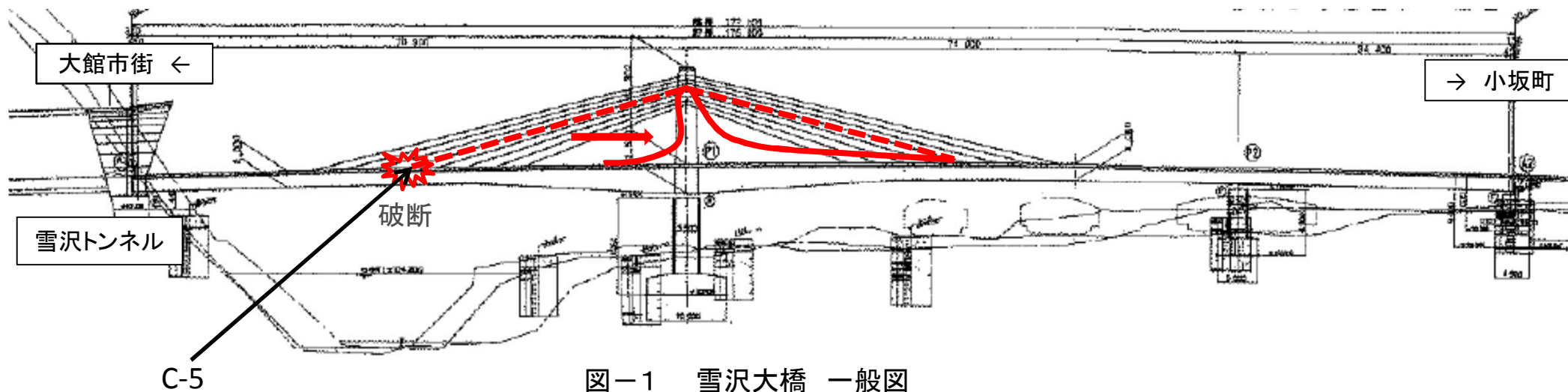


図-1 雪沢大橋 一般図

* C-9は 予備孔

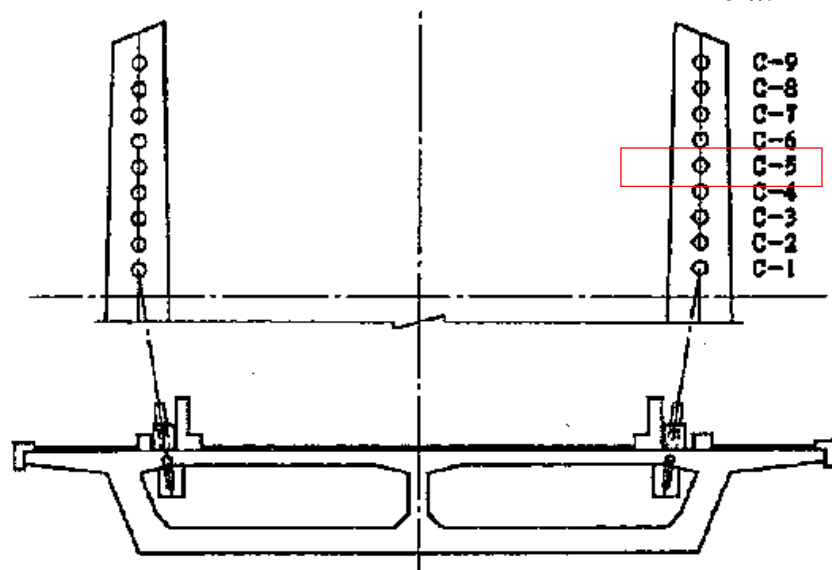


図-2 雪沢大橋 上部工横断図

【主要地方道 大館十和田湖線 雪沢大橋】

- ・ 橋長: 177.1m
- ・ 橋梁形式: 3径間連続エクストラード橋
- ・ 架設年次: 平成12年12月
- ・ 破断したケーブル: C5ケーブル(全長79.701m)

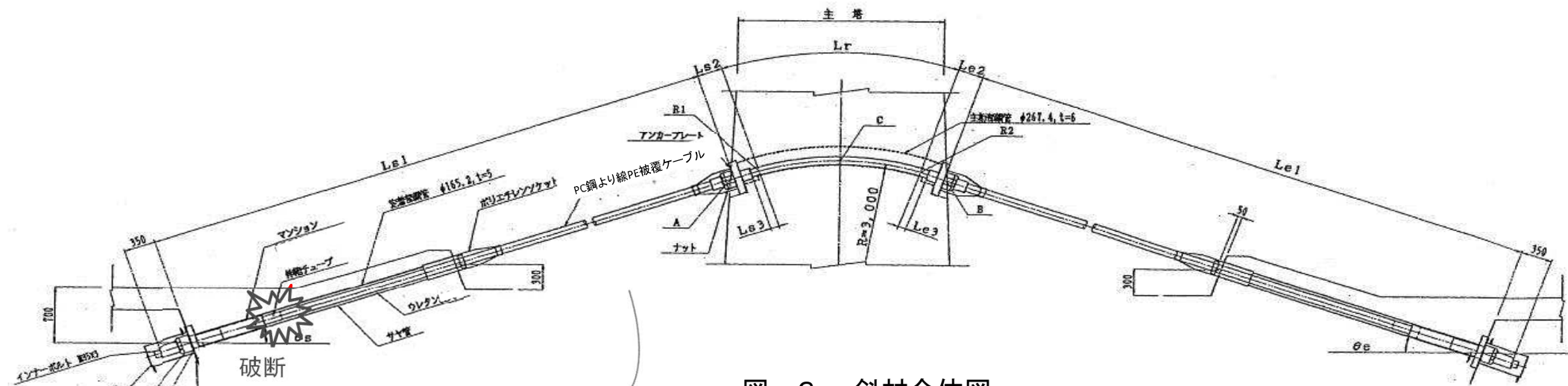


図-3 斜材全体図

拡大範囲

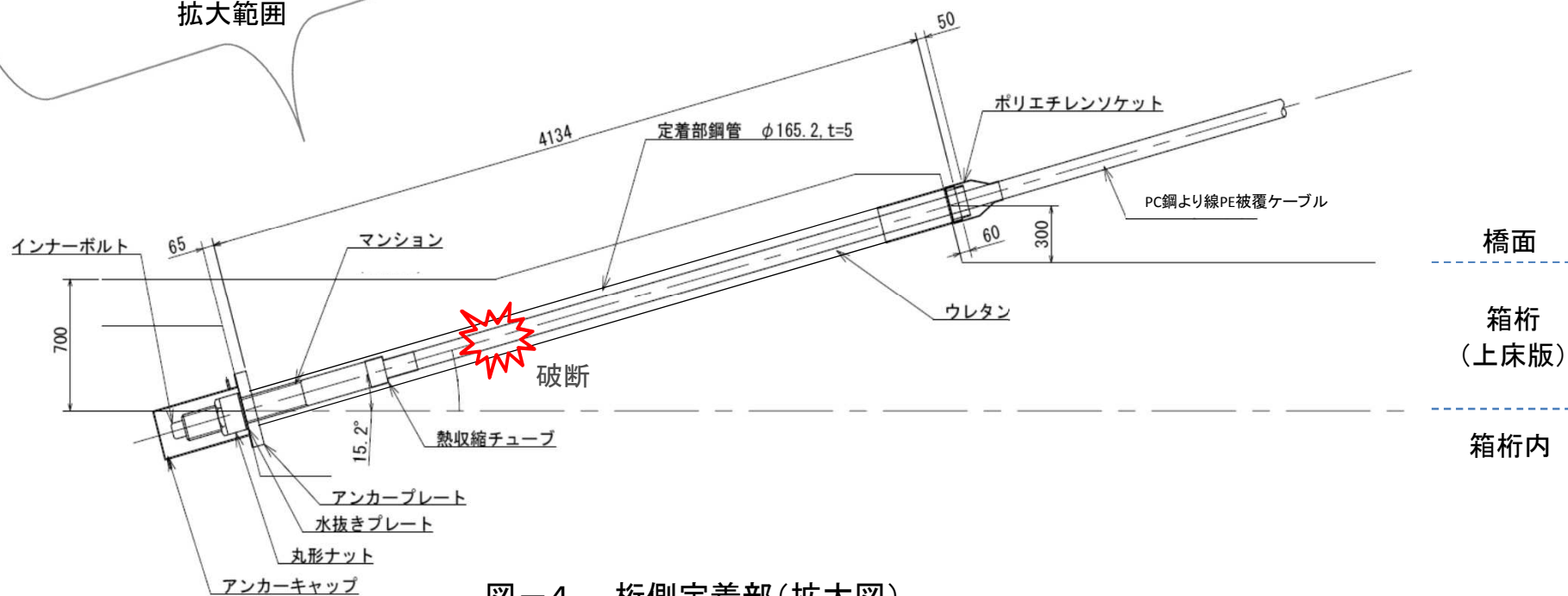
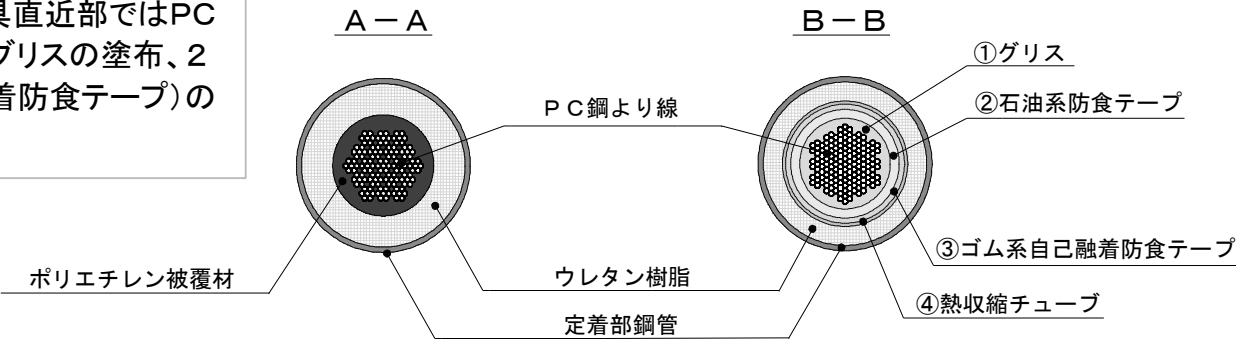


図-4 桁側定着部(拡大図)

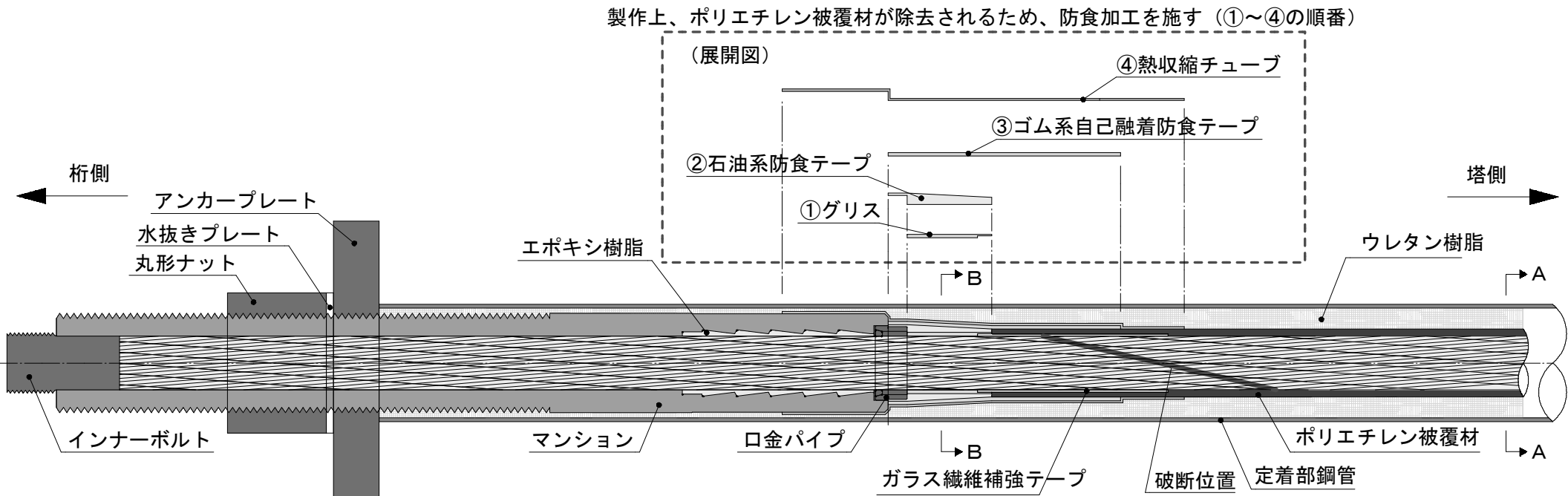
斜材構造の概要

ケーブルは、直径5.1mmの鋼線を7本縫り合わせたもの（PC鋼より線）を19本束にし、工場において一旦継ぎ目なく全長に渡りポリエチレン被覆される。

その後、桁側の定着部は一部のポリエチレン被覆材を除去してから圧着によりマンションと呼ばれる定着具がとりつけられる。このとき定着具直近部ではPC鋼より線にポリエチレン被覆材のない裸の部分が生じるため、グリスの塗布、2種類の防食テープ（石油系の防食テープ及びゴム系の自己融着防食テープ）の巻きつけ、熱収縮チューブ被覆の防食が施される。



5



図ー5 マンションとケーブルの結合部（模式図）

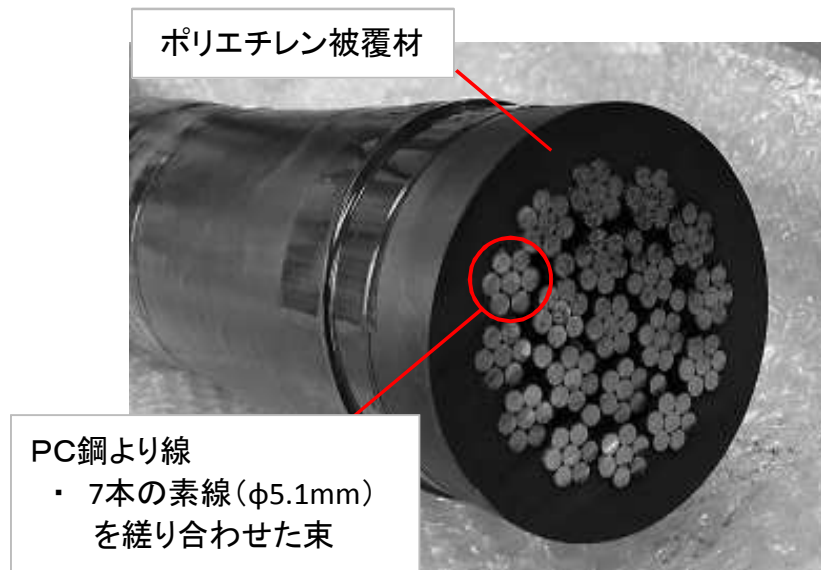


写真-2 ケーブル断面

* 写真は参考(当橋のケーブルでない)

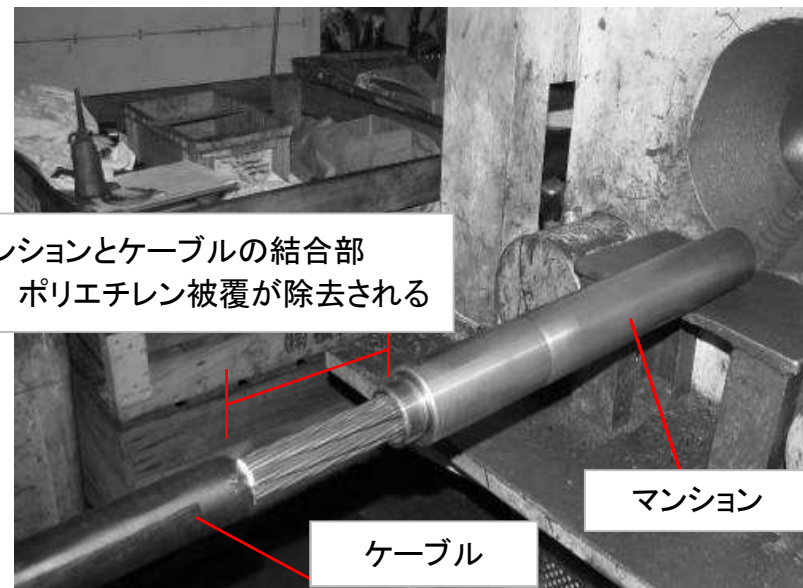


写真-3 マンションとケーブルの結合部(製作時)

* 写真は参考(当橋のケーブルでない)



写真-4 ケーブル破断箇所のPC鋼より線

* 写真は当橋のもの

ケーブル架設完了前からの損傷箇所

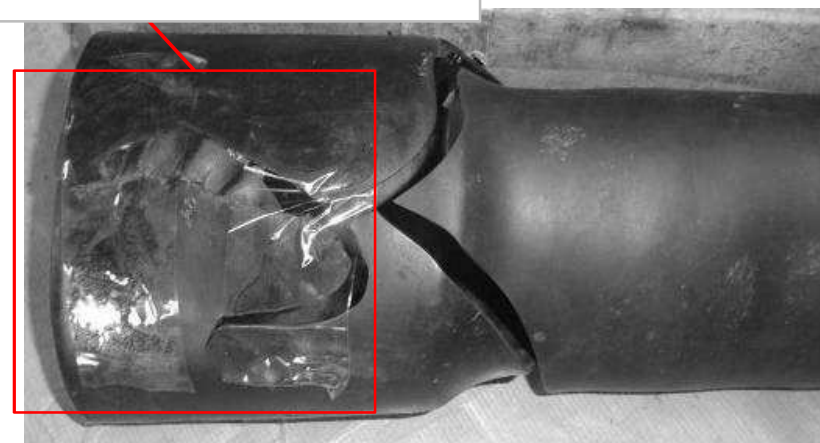


写真-5 熱収縮チューブのケーブル架設完了前からの損傷

* 写真は当橋のもの

道 ー 1 4 2 6
平成23年11月25日

銭高・ピーエス特定建設工事共同企業体
代表者 株式会社銭高組 東北支店
執行役員支店長 木村 匠一郎 様

秋 田 県 建 設 交 通 部
部 長 富 田 耕 司



主要地方道大館十和田湖線雪沢大橋におけるケーブル破断について（照会）

標記については、これまで貴企業体と協議してまいりましたが、秋田県では当路線の重要性等に鑑み、一日も早く補修工事に着手し、供用する必要があると考えております。

つきましては、次の事項について、貴企業体の見解を12月5日までにご提示願います。

1. ケーブル破断の責任と費用負担について

破断したケーブルを調査した結果、ケーブルの破断原因は、桁側定着部近傍で外部から侵入した水分によりPC鋼より線が著しく腐食したことによるものでありました。

また、熱収縮チューブにはケーブル架設完了前には既に生じたと考えられる損傷（裂傷、穴）があり、ケーブル破断箇所のPC鋼より線からは、塩分の付着が確認されました。

ケーブル破断は、貴企業体の施工に原因があると考えておりますが、ケーブル破断の責任及び破断ケーブル補修費用の負担について、貴企業体の見解を伺います。

2. 残存ケーブルの調査費と施工費の負担について

残存ケーブルについても、同様の損傷が生じている可能性があるため、残存ケーブルの調査費及び今後の施工費用は貴企業体の負担と考えますが、貴企業体の見解を伺います。

事務担当 秋田県建設交通部道路課 菅原
TEL 018-860-2488

「第3回成瀬ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」について

平成23年12月 5日
河川砂防課

1. 開催概要

開催日：平成23年10月20日（木）
場所：秋田河川国道事務所

（議事内容）

（1）検証対象ダム事業等の点検について

1）総事業費の点検

当初計画 1,530億円 → 1,528億円（今回点検） ▲2億円

2）工期の点検

当初計画完成年度 平成29年度→本体着工後9年（H25着工の場合H33年度）

3）利水参画量の確認

①かんがい 当初計画と変更無し

②水道・湯沢市 当初計画 4,390m³/日→2,329m³/日（▲ 2,061m³/日）
・横手市 大仙市 変更無し

（2）複数の治水・利水対策案の立案について（ダム案含まず）

	治水	利水（かんがい）	利水（水道）	利水（機能維持）
第2回（代替案提示）	15案	17案	18案	15案
第3回（代替案概略評価・抽出）	6案	3案	5案	3案

- 1）治水対策案：河道掘削、遊水池、輪中堤、宅地かさ上げ等の組合わせ
- 2）利水対策案：利水専用ダム新設、皆瀬ダムかさ上げ、地下水取水、他用途ダム容量の買い上げ、ため池かさ上げ等の組合わせ

（3）パブリックコメントについて

複数の代替案、代替案の抽出の考え方についてパブリックコメントを募集

期間：平成23年10月22日（土）～平成23年11月21日（月）

2. 秋田県の意見

- ・大震災や水害を受け、迅速な防災対策が国民的な課題として求められているため、この検討についてもスピードを上げてやっていただきたい。
- ・今回の6月と7月の豪雨で秋田県でも相当の被害があり、住民からも1日も早い治水対策の強化が求められていることから、時間軸についても的確に評価していただきたい。

3. 今後の予定

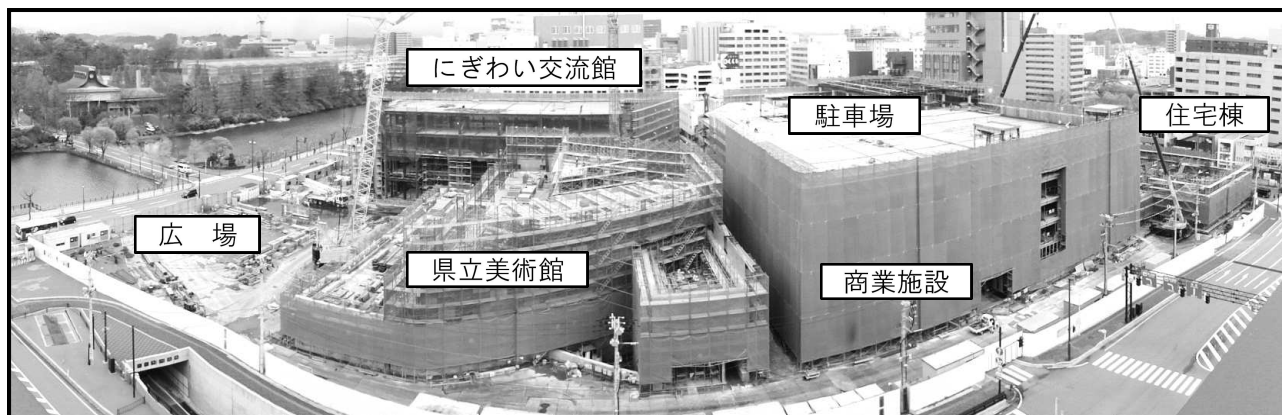
- ・第4回検討の場で、「再評価実施要領細目」に示された内容で、抽出された案を詳細に評価し、最終的に1案に絞った案を提示。
- ・今後2～3回の検討の場を開催し、平成23年度内に検討結果を国土交通省へ報告。
- ・「継続」の結果となれば、平成25年度の概算要求に盛り込む。

中通一丁目地区市街地再開発事業について

平成23年12月 5日
建 築 住 宅 課

1 施設建築物建設工事について

11月末現在、工事全体の進捗は、約28.5%である。新県立美術館は、約30.0%の出来高で、現在、最上階の躯体工事中である。
(平成23年11月末撮影)



2 事業計画の変更について

事業の進捗状況を踏まえ、12月2日に再開発組合から事業計画の変更申請があった。

(1) 事業認可の経緯

- ・21年 2月 6日 再開発組合設立及び事業計画の認可 (約159億円)
- ・22年 2月22日 事業計画の変更認可 (約150億円 ▲約9億円)
- ・22年 3月23日 事業計画の変更認可 (約147億円 ▲約3億円)
- ・22年 8月18日 事業計画の変更認可 (約142億円 ▲約5億円)
- ・23年12月 2日 事業計画の変更申請 (約135億円 ▲約7億円)

(2) 変更の概要

○事業費内訳

(単位：百万円)

	変更前	変更後
調 査 設 計 費	1,333	1,193
土地整備・補償費等	2,965	3,092
工 事 費	9,529	8,960
事 務 費 等	345	252
計	14,172	13,497

○地番表示、商業施設の配置計画、住宅棟区画 (26戸→23戸) の変更等

3 施設のオープンについて

県、秋田市、再開発組合は、平成24年6月末の「新県立美術館」「秋田市にぎわい交流館」「商業施設」等の施設引渡しにともない、施設開設の情報を発信するため、平成24年7月21日に「オープン記念式典」の開催を予定している。

4 再開発エリアの愛称等について

再開発事業の施行地区および各施設が利用者に広く愛され、親しまれる施設となるように、県、秋田市、再開発組合が一体となって愛称の募集をおこない、11月19日に発表会・表彰式を行った。

○再開発事業施行地区愛称 「エリア なかいち」



- 漢字の「中」と「一」を組み合わせ、「なかいち」を表現するとともに、広小路や中央通りで囲まれる中心市街地と、これを貫く一本の線によって、中心市街地の一体性を表現しました。なお、使用されている色は、「千秋公園と一体となった街なかオアシス」という開発コンセプトを反映し、千秋公園の緑と水、及び秋田市の色である若草色をイメージしております。

○秋田市にぎわい交流館愛称 「にぎわい交流館AU（あう）」



- 手を取り合うとともに、弾むような躍動感のある字体で、交流と楽しさを、そして情熱的な色彩によって、賑わいと文化活動に対する市民の熱い想いを表現しています。

○マスコットキャラクター 「与次郎」



- 千秋公園には、佐竹義宣公に義を尽くしたとされる白狐を祀った「与次郎稲荷神社」があります。
江戸初期、急ぎ城を作っていた義宣公の夢枕に、築城により住処を失った白狐があらわれ窮状を訴えたところ、哀れに思った義宣公が土地を与えました。これに恩を感じた狐「与次郎」は飛脚に姿をかえ、義宣公の命を受け、江戸と秋田を6日間で往復し、江戸の情報をいち早く義宣公へ伝えたという伝説があります。